

肝性脳症治療のため、当院に入院・通院された患者さんの情報を用いた 医学系研究に対するご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。匿名化が図られ個人は特定されず、また過去の診療記録情報の収集と解析にとどまるため、対象者には直接の不利益はありません。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象患者さんお一人お一人からの直接のご同意に代えて、研究内容の情報を公開することをもって実施可能とされております。

この研究に関するお問い合わせ、ならびに、この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録(カルテ)は除外してほしい」と望まれる方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題名】

高齢化時代の肝性脳症診療における MRI 検査を用いた認知症評価（後ろ向き研究）

【研究機関】 神戸朝日病院

【研究責任者】 金 秀基（院長）

【研究の目的】

高齢化時代を迎え、認知症罹患者が増加してきており、高齢者肝疾患診療においても新たな対応が求められつつあります。特に、肝硬変患者における肝性脳症とアルツハイマー型認知症は、臨床症状に基づく鑑別が必ずしも容易ではなく、また両者を合併罹患する症例もみられます。このため、肝性脳症診療対象症例における認知症罹患の有無を診断するための客観的な指標が求められていますが、現時点では確立しておりません。今回、当院で過去に受診された肝性脳症の患者さんのうち、頭部 MRI データを基に脳の萎縮度を評価する Voxel-based Specific Regional analysis system for Alzheimer's Disease(VSRAD)システムを施行した患者さんの診療録(カルテ)の情報を収集し、肝性脳症治療症例におけるアルツハイマー型認知症合併の実態を検討することといたしました。この研究は、ご高齢の肝性脳症患者さんの診療方針の決定の一助になるデータを集積することを目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つものと考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2017年1月～2021年10月の間に当院で肝性脳症診療を行い、かつMRI-VSRAD検査を施行した65歳以上の患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、合併症、既往歴、生活歴、服薬歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況等

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含ま

れません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

神戸朝日病院

消化器科 研究責任者 金 秀基

〒653-0801 神戸市長田区房王寺町 3-5-25

TEL : 078-612-5151